

財務諸表分析に基づく令和4年度当初予算（案）の編成について

Point 1. 資産の老朽化への対応

◆指標：住民1人当たり資産額、資産老朽化比率（有形固定資産減価償却率）（P.9）

◇考察：飯田市は他市に比べ、住民1人当たりの資産額が大きく、特に事業用資産についての老朽化が進んでいる



◎対応の方向性：保有する施設の計画的な改修が必要（さらには施設の廃止、縮小が必要）

○当初予算（案）への反映

- ・各種公共施設の改修工事費等を措置

小中学校大規模改修工事費 263,427 千円、体育施設改修事業費 146,522 千円、公営住宅建設工事費 241,998 千円など（普通建設事業費の総額は 6,416,533 千円）

- ・指定避難施設屋外トイレの改修工事費を措置

老朽化に加え水洗化及び洋式化が課題となっている指定避難施設の屋外トイレについて、計画的な改修を進めるための改修工事費を措置（総額 227,528 千円）

Point 2. 現世代の負担と将来負担とのバランスを考慮した予算

◆指標：純資産比率、将来世代負担比率（社会資本等形成の世代間負担比率）（P.10）

◇考察：飯田市は他市に比べ、現保有資産に係る将来世代の負担が少なく、現世代の負担が大きい



◎対応の方向性：世代間の負担を考慮した資産形成、有利な起債を財源として活用

○当初予算（案）への反映

- ・市債の総額は前年度比で 270,000 千円増の 3,273,600 千円（臨時財政対策債を除く）

- ・「緊急防災・減災事業債」の事業期間延長を踏まえて、指定避難施設の改修や避難路及び緊急輸送路整備、防災行政無線デジタル化等の地域防災力向上に資する取組を実施（総額 764,500 千円）

Point 3. 行政コストを意識した予算

◆指標：市民1人当たり行政コスト（P.13）

◇考察：施設の維持補修費や社会保障給付等の将来的な行政コスト増加や、人口減少による一人当たり行政コスト増加への対応が必要



◎対応の方向性：行政活動の効率化を高めるための取組を推進

○当初予算（案）への反映

- ・証明書等のコンビニ交付や施設のオンライン予約など、デジタル技術を活用し市民サービスの向上を図るとともに、将来的な行政手続きコスト削減につなげる